

オキナワウラジロガシについて

オキナワウラジロガシ

科名：ブナ科

学名：Quercus miyagii Koidz.

方言名：**カシギ**

生育適地：非石灰岩質母材を好む

性状：（高木）10m以上に達する高木で、小枝は乾けば暗褐色を呈し、
無毛で灰白色の皮目が著しい

用途：**用材**、シイタケ原木、庭園木

開花時期：2月 採種時期：10～12月 採種適期：11月

1kg当たり粒数：551粒 発芽率：70% まき付け時期：11～12月

移植時期：2～3月 挿し木時期：11～12月 得苗率：60%

特記事項：採取と同時にまきつけを行う。中苗、大苗移植の場合、
数ヶ月前（6月頃）に根まわしをして鉢の部から細根が
出してから移植する。その際、細枝の剪定を十分に行う。



出典「沖縄県農林水産部森林資源研究センター ホームページ」

オキナワウラジロガシ

和名別名：ヤエヤマガシ

学名：Quercus miyagii Koidz.

固有性：琉球固有

絶滅危惧カテゴリー（環境省）：－

絶滅危惧カテゴリー（鹿児島県）：**VU**

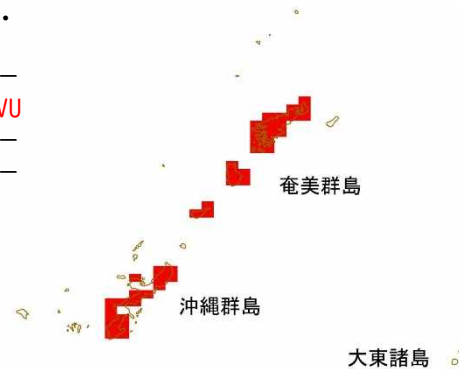
絶滅危惧カテゴリー（沖縄県）：－

絶滅危惧カテゴリー（東アジア）：－

文献に基づく分布：

奄美群島、沖縄島・久米島、
石垣島・西表島

標本に基づく分布：図のとおり



大東諸島

【参考】ウラジロガシ

和名別名：－

学名：Quercus salicina Blume

固有性：－ 本州, 四国, 九州, 屋久島・種子島, 台湾, 朝鮮(南部)

絶滅危惧カテゴリー（環境省）：－

絶滅危惧カテゴリー（鹿児島県）：－

絶滅危惧カテゴリー（沖縄県）：**VU**

絶滅危惧カテゴリー（東アジア）：－

文献に基づく分布

奄美大島・徳之島、
沖縄島（北部）、与那国島

標本に基づく分布：図のとおり



大東諸島

| 絶滅危惧Ⅱ類 (VU) | |
|---------------|--------------------------------|
| ウバメガシ | <i>Quercus phillyraeoides</i> |
| <u>ウラジロガシ</u> | <u><i>Quercus salicina</i></u> |
| ヤエヤマラセイタソウ | <i>Boehmeria yaeyamensis</i> |
| サンショウソウ | <i>Pellionia minima</i> |
| オオサンショウソウ | <i>Pellionia radicans</i> |
| ミヤマミズ | <i>Pilea petiolaris</i> |

出典「レッドデータおきなわ 第3版」

出典「国立科学博物館 琉球の植物データベース ホームページ」

